

報告書〔1〕 分析結果及びフローシート

1 アンチモン

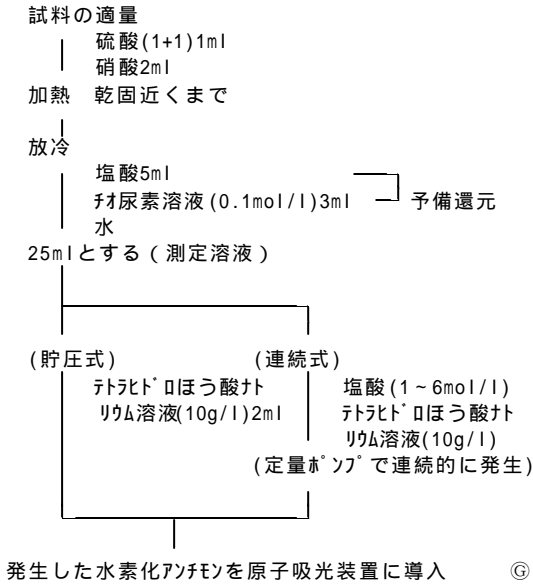
分析実施機関名	整理番号	*	国際的な認証の取得	1. ISO 9001~9003 2. ISO 14001 3. ISO/IEC 17025 (カト'25) 4. なし
分析主担当者名	*	分析主担当者の経験年数	年	分析主担当者の実績(検体数)
				検体

注1) 分析結果 (mg/l)	標準偏差 (mg/l)	測定回数 (回)

注1) 2回以上の測定を行った場合は、平均値を記入する。
なお、一旦受領した結果については、訂正があっても受け付けませんので、記入間違いや単位間違い等に注意してください。

分析開始日	月	日
分析終了日	月	日

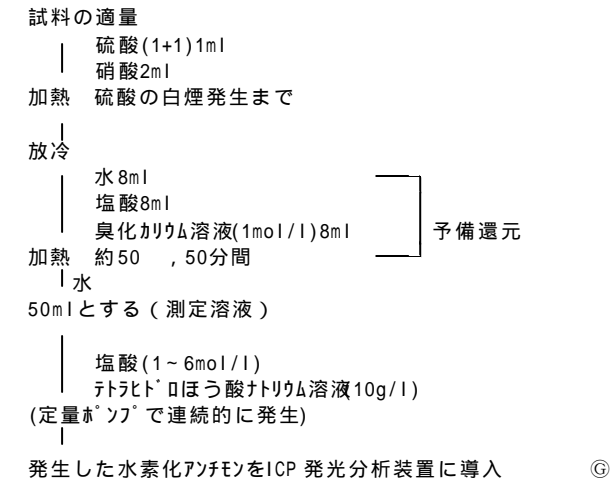
< 水素化物発生原子吸光法 >



< 分析法等 >

分析法	1. 水素化物発生原子吸光法 2. 水素化物発生ICP発光分析法 3. その他()
測定波長	()nm
試料の分取量	()ml
予備還元に使った試薬	1. チオ尿素 2. 臭化カリウム 3. その他()

< 水素化物発生ICP発光分析法 >



< 水素化物発生原子吸光法 >

導入方法	1. 連続式 2. 貯圧式 3. その他()
バックグラウンド補正	1. しない 2. 重水素ランプ 3. 偏光ビーム 4. その他()
原子化の方法	1. 水素炎フレーム 2. 加熱石英管 3. その他()

< 水素化物発生ICP発光分析法 >

装置の型式	1. 波長走査(シーケンシャル) 2. 波長固定(マルチ)
バックグラウンド補正	1. 行う 2. 行わない
測定時間	()秒/元素

< 検量線の作成等 >

定量方法	1. 検量線法 2. 標準添加法
検量線の作成	作成点数㊱() 濃度範囲㊲() ㊳() 注2) 単位㊴ 1. 量(μg) 2. 濃度(μg/l) 最高濃度の指示値㊵() 空試験値(指示値)㊶()
試料の指示値	㊷()
検出限界 注3)	㊸()mg/l

注2) 測定溶液中の量又は濃度で示す。
注3) 試料中の濃度で示す。

分析実施にあたっての留意した点及び問題と感じた点

前処理について	-----
測定方法について	-----
分析全般について	-----